



市政のかじ取り役で実績

田中たかし

略歴

県立宮古商業高校卒業
宮古商業高校同窓会会長
宮古町3・4自治会副会長
議会復興対策特別委員長
市議会総務常任委員(現)
宮古地区委員長(現)

宮古民報 号外

宮古市宮町4-6-49
電話 62-5808・FAX62-3897

日本共産党が宮古市政への政策を発表しました。2018・3号外

日本共産党

2議席は

子育て支援を拡充

子育て世代の家計支援に役立つ医療費無料化は、中学校卒業まで対象世帯を広げることが出来ました。今後は、窓口が無料の「現物給付」を就学前から小学校卒業まで広げます。保育所待機児童の解消などの支援を拡充させます。



本会議場で一般質問を行う田中議員

市民要求実現へ

市政を前向きに動かす

たしかな力

市に浸水被害対策

津波だけでなく、洪水など浸水被害を広げる懸念のある閉伊川水門整備では検証と見直しを提案、台風10号災害では泥上げなど被災者の水道料金の減免を実現。住まいと生業の再建では党県議団と協力し、補助金制度を実現させました。

担い手の育成支援

ワカメ、コンブなど養殖漁業を対象に漁業者就業支援制度を実現。(月額15万円を18ヶ月間、漁協を通じて助成)。農林業でも担い手支援の各種施策を具体化、2016年度、森林組合等を加えた「林業振興対策懇話会」を結成、山林資源の有効・活用を図ります。



宮古市議選挙は、新しい政治へ党の躍進と野党+市民の共闘を勝利させる力を地方政治に確保する大切な選挙です。

9条改憲阻止へ、ともに頑張りましょう。

参院議員 紙とも子

野党+市民の共闘で新しい政治を

産業振興と福祉の充実へ

合併して10年余、少子・高齢化に加え大震災の教訓を生かしたまちづくりが重要です。市政を監視、建設的提案で問題解決の道すじを示し、議会が、その役割を発揮するためにも必要な議員です。



庁舎跡地活用例を視察する総務委員会
左端から2人目が田中議員

雇用創出と所得拡大

宮古市は金型工業とともに農林漁業など第一次産業の振興が必要です。所得が低く、人口流失の原因を改めるためにも「食産業」と「林業」振興を柱に「後継者対策」などで雇用の創出と維持が求められています。観光交流人口の増加へ鉄道など公共交通網の整備・改善を促進させます。

医療・介護福祉充実

健康で文化的な暮らしは住民の権利です。医療・介護など福祉の充実は緊急な課題です。国保の広域化（県が運営）が、税の値上げにならないよう国などに対応を求めます。県立宮古病院の充実と診療所、住民が一体の地域医療連携の充実をはかります。

議会機能の役割発揮

議会は住民の要求反映と市政の監視機能が本来の役割です。「何でも賛成」ではなく、住民の利益第一には々々々の態度が求められます。新議会は常任委員会活動が日常的に可能な「通年議会」となります。議会報告会など議会機能の強化に取り組みます。



生業の再生などで商工会議と意見交換

生き立ち

- 1945年、宮古市大通りで4人兄弟の次男として誕生。
- 宮古小学校、宮古第一中学校に入学、「宮商」卒業、(株)丸石家具（東京）に就職。
- 1964年帰郷、べいや商店入社、店の仲間や社長等の応援で28歳で市会議員に初当選。
- 宮古地区広域行政組合議会議員、各種特別委員会委員長、総務、議運常任委員長を歴任。

重要案件に対する各議員の態度

◎安保法制廃止の意見書

- 【賛成】 田中 尚、落合久三、中島清吾
伊藤 清、坂本悦夫、長門孝則
竹花邦彦、松本尚美、坂下正明
藤原光昭、高橋秀正、佐々木勝
須賀原チエ子、
*北村 進、▼内舘勝則、
- 【反対】 今村 正、小島直也、白石雅一
鳥居 晋、橋本久夫、古舘章秀
加藤俊郎、佐々木重勝
佐々木清昭、工藤小百合
▼近藤和也、▼茂市敏之
*は故人、▼は辞職

賛成者多数で可決

◎消費税10%増税反対の意見書

- 【賛成】 田中 尚、落合久三、中島清吾
伊藤 清、坂本悦夫、長門孝則
竹花邦彦、坂下正明、藤原光昭
須賀原チエ子
*北村 進、▼内舘勝則
- 【反対】 今村 正、小島直也、白石雅一
鳥居 晋、橋本久夫、古舘章秀
加藤俊郎、佐々木重勝
佐々木清昭、工藤小百合
松本尚美、佐々木勝、高橋秀正
▼近藤和也、▼茂市敏之
*は故人、▼は辞職

反対者多数で否決

市政を安倍暴走政治の防波堤に